

# 教頭通信デジタル

令和4年12月2日（金）第23号

文責：備前市立三石中学校 早川政宏

## 「税の標語」の表彰式が行われました

12月2日（金）、期末テスト2日目の放課後、「税の標語」の表彰式が行われました。「税の標語」は夏休みの課題の1つとして、全校生徒で取り組みました。募集の目的は、次世代を担う子ども達に、税を身近に感じてもらい、税の意義や現状を理解することです。12月1日（木）の山陽新聞・東備版に受賞の記事が掲載されていました。

瀬戸税務署の藪本署長様、瀬戸間税会の増永会長様が来校され、本校特別活動室において、優秀な作品を考えた5名の生徒に対して、表彰状と記念品の贈呈が行われました。

署長賞	竹内暖陽さん	「税金は 日本を支え 自分を支える 第一歩」
会長賞	有吉夏菜さん	「納税者 納めるたびに人を救える 救世主」
入選	有吉彩夏さん	「コツコツと小さな納税 気づくと大きな社会貢献」
入選	長田彩愛さん	「税金で 豊かな社会を つくりだそう」
入選	田中幸也さん	「みんな支えられている「税」という名のヒーローに」

どの作品も中学生らしい若々しい感性で考えられており、テンポやリズムの良い作品に仕上がっています。税は国の根幹を支える仕組みで、納税は国民の三大義務の1つであります（他は教育の義務と勤労の義務で、日本国憲法に規定されています）。今回の表彰式を契機に、税の種類や仕組み、そして、使い道について調べたり考えたりすることも大切であることを再確認することができました。

